

次世代育成支援行動計画(後期)策定に関する

ニーズ調査報告書

概要版



平成 21 年 3 月

加西市

目次

1	ニーズ調査の実施概要	1
2	家族構成について	3
3	子どもの食習慣について	4
4	平日保育の保育状況について	5
5	保育サービスの利用意向について	6
6	学童保育の利用について	7
7	病気の時の対応について	8
8	一時預かりについて	9
9	子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について	10
10	子育てに関する悩みや不安感について	13
11	育児休業、仕事と生活の調和について	14
12	中・高校生の乳幼児とふれあう機会について	16
13	中・高校生の将来の結婚観等について	17
14	加西市での定住意向について	18

ニーズ調査の実施概要

本市では、平成 17 年 3 月に策定した「加西市次世代育成支援行動計画」に基づき、さまざまな取り組みが進められておりますが、次世代育成支援行動計画（後期）の策定に向けての基礎データを得るため、家庭の子育てに対する生活実態や意識、ならびに子育てを支援するサービスの利用状況やニーズに関する調査を実施しました。

1 調査時期

平成 20 年 12 月 5 日(金)～平成 20 年 12 月 18 日(木)

2 調査方法

中学生は、調査票の直接配布・直接回収により実施しました。
その他の対象者は、調査票の郵送配布、郵送回収により実施しました。

3 調査対象者

① 就学前児童

住民基本台帳（外国人を含む）を用い、市内に居住する就学前児童の保護者 400 人を無作為抽出し、調査対象者としてしました。

② 小学校児童

住民基本台帳（外国人を含む）を用い、市内に居住する小学校児童の保護者 400 人を無作為抽出し、調査対象者としてしました。

③ 中・高校生

中学生は、市内公立 4 中学校の協力により、各校の第 2 学年から 150 人を有意抽出し、調査対象としてしました。

高校生は、住民基本台帳（外国人を含む）を用い、市内に居住する高校 2 年生 150 人を無作為抽出し、調査対象者としてしました。

④ 一般

住民基本台帳（外国人を含む）を用い、市内に居住する 18 歳～35 歳の方 200 人を無作為抽出し、調査対象者としました。

4 調査回収率

調査の種類	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	400	209	52.25%
小学校児童	400	203	50.75%
中・高校生	300	197	65.67%
一般	200	69	34.50%

5 報告書を読む上での注意事項

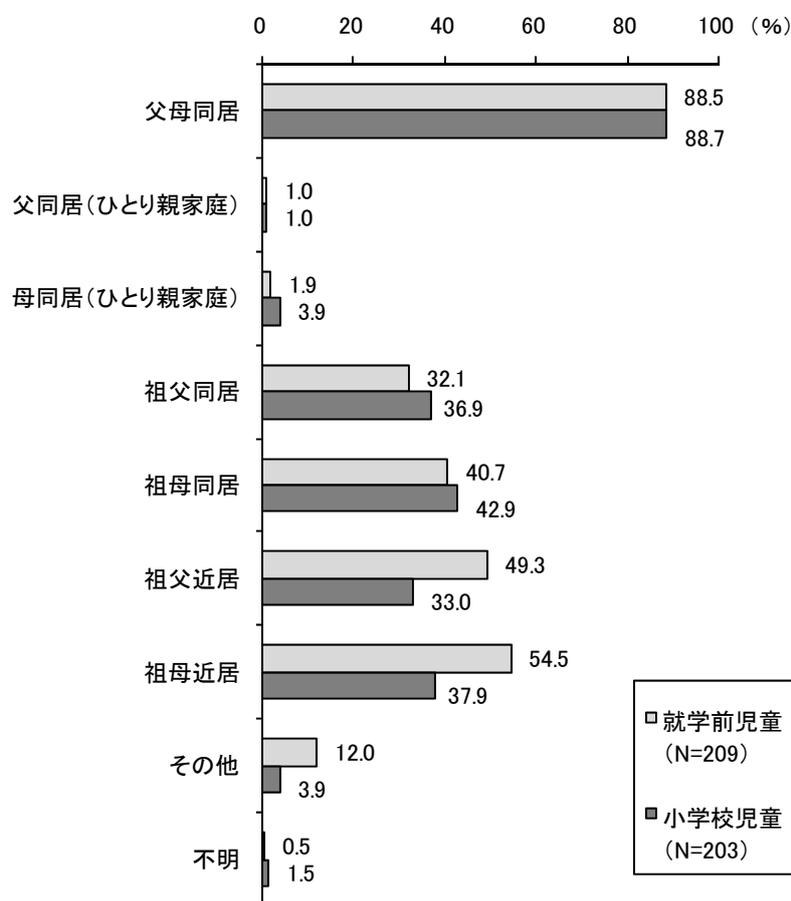
- (1) グラフ中の「N」はその項目における回答者を合計した実数値であり、比率算出の基数となる。
- (2) 比率については小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 で表している。
また、この四捨五入のため、各比率の合計が 100% に合致しない可能性がある。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答者数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100% を超える。
- (4) グラフ中の「不明」は、その項目における無回答者を含む。

2 家族構成について

父母が同居している世帯は就学前児童で88.5%、小学校児童で88.7%と最も多く、次いで、就学前児童では「祖母近居」54.5%、「祖父近居」49.3%、小学校児童では、「祖母同居」42.9%、「祖母近居」37.9%となっています。

ひとり親家庭は就学前児童、小学校児童ともに低い割合になっていますが、小学校児童では「母同居（ひとり親家庭）」が3.9%となっています。

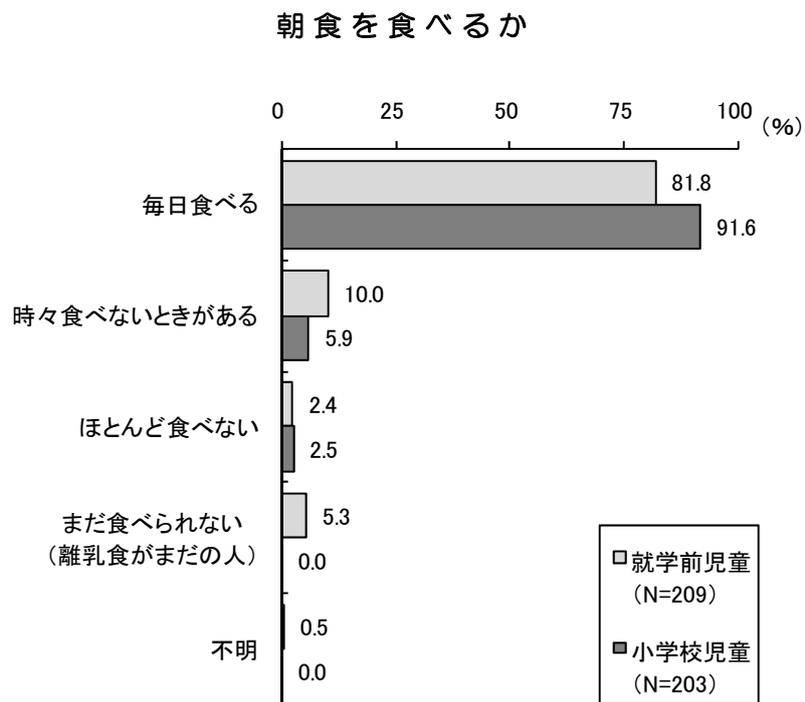
家族構成



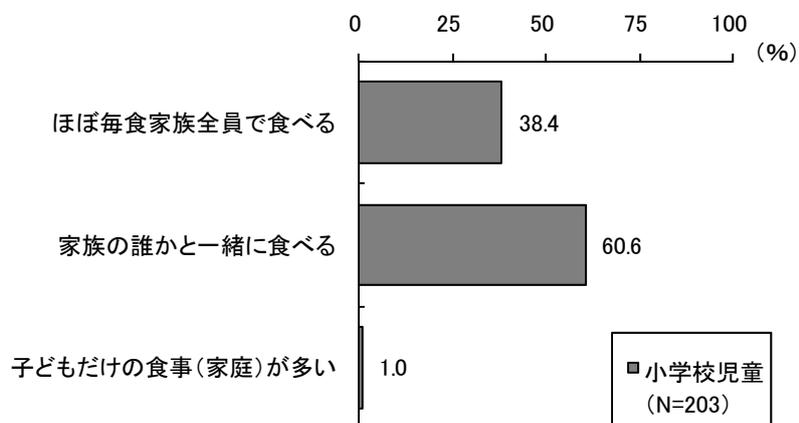
3 子どもの食習慣について

朝食を毎日食べている子どもは就学前児童で81.8%、小学校児童で91.6%となっています。

小学校児童の保護者に、普段家族と一緒に食事をしているかについてたずねたところ、「家族の誰かと一緒に食べる」60.6%が最も多く、「子どもだけの食事（家庭）が多い」との回答も1.0%みられます。



普段家族と一緒に食事をしているか（小学校児童）

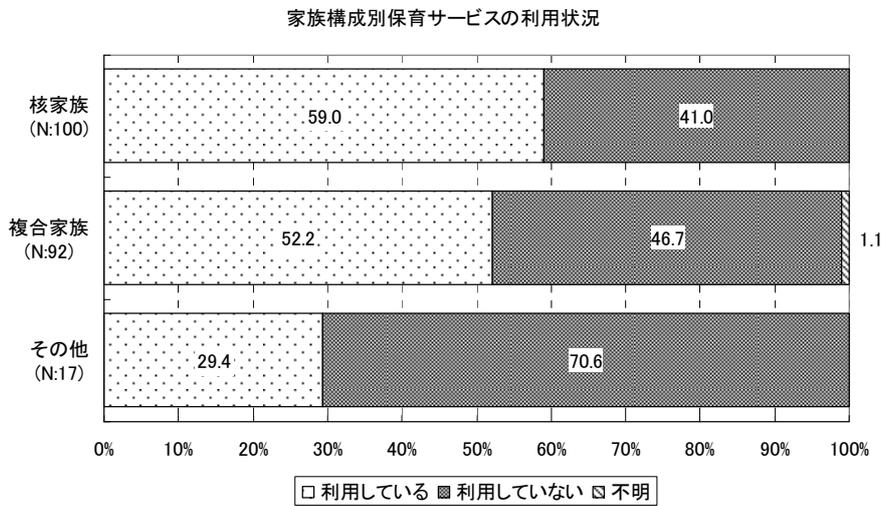


4

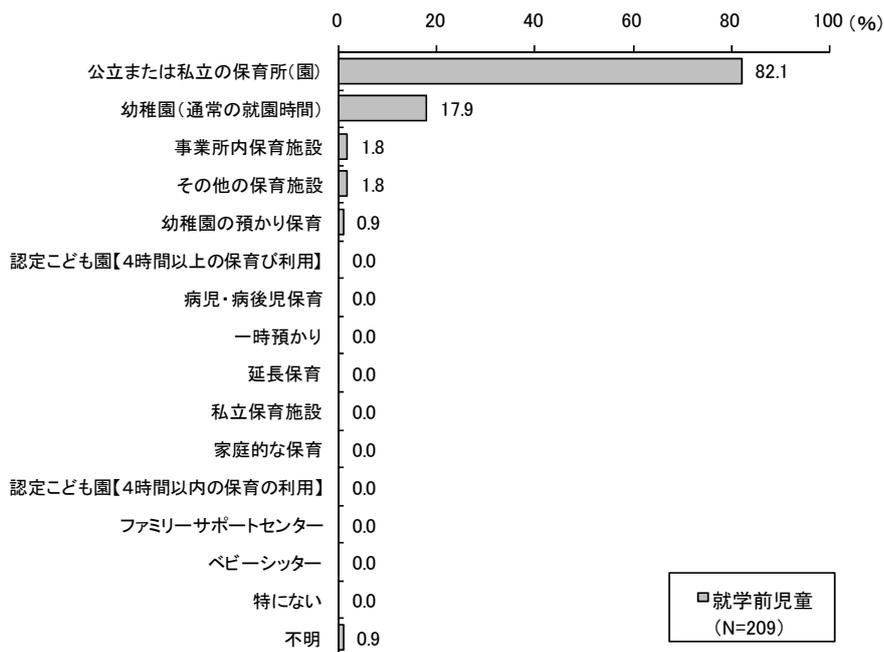
平日保育の保育状況について

保育サービスの利用状況を見ると、核家族は「利用している」59.0%に対し、複合家族では52.2%となっており、若干、核家族の方が利用している割合が多くなっています。一方、利用している保育サービスは「公立または私立の保育所（園）」がほとんどであり、そのほかのサービスの利用率は相対的に低くなっています。

家族構成別保育サービスの利用状況（就学前児童）



子育て支援サービスの利用状況（就学前児童）

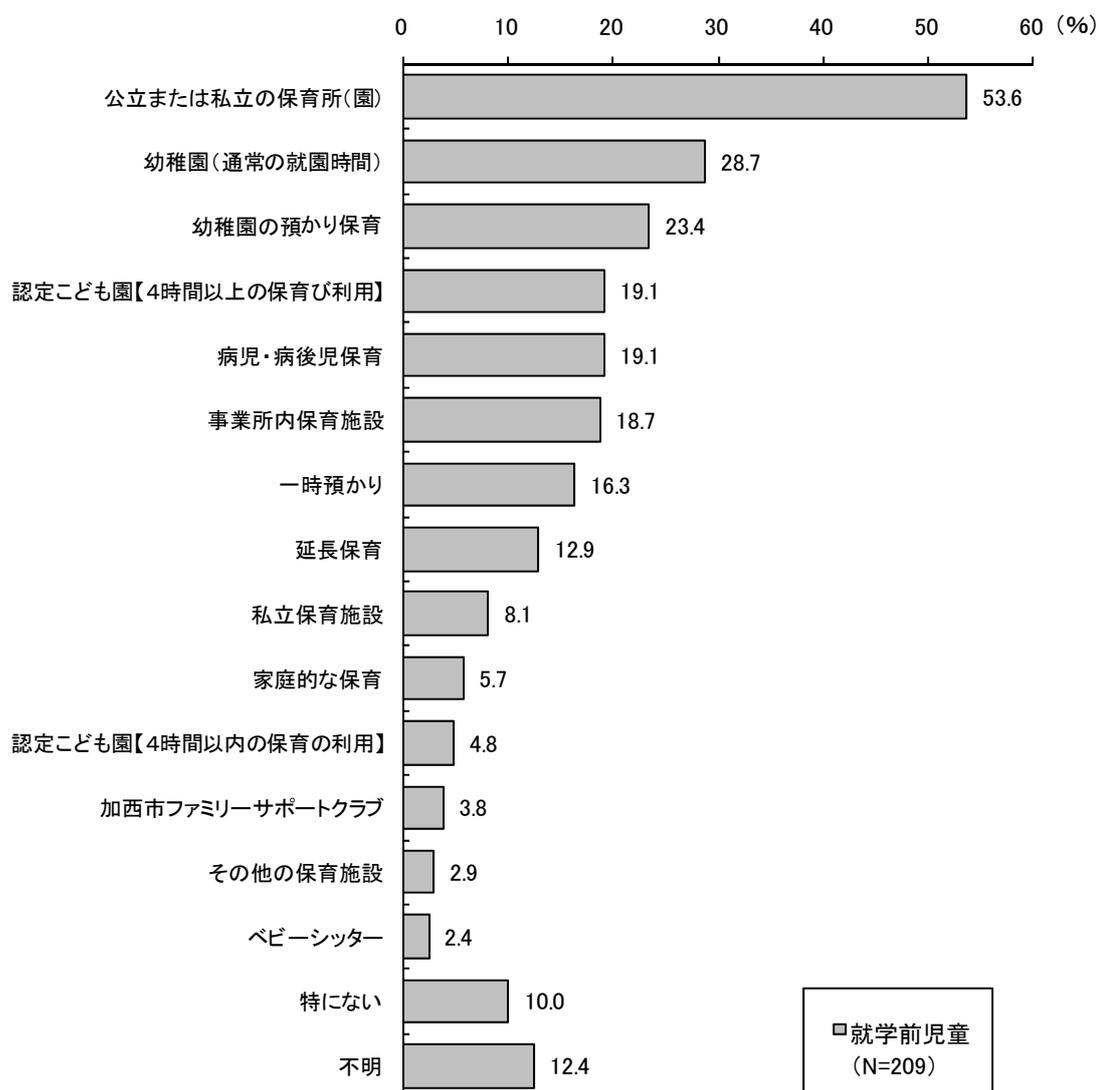


5

保育サービスの利用意向について

就学前児童の保護者に、サービス利用希望についてみると、「公立または私立の保育所（園）」53.6%、「幼稚園（通常の就園時間）」28.7%、「幼稚園の預かり保育」23.4%の利用意向が高いことがわかります。

保育サービスの利用意向（就学前児童）

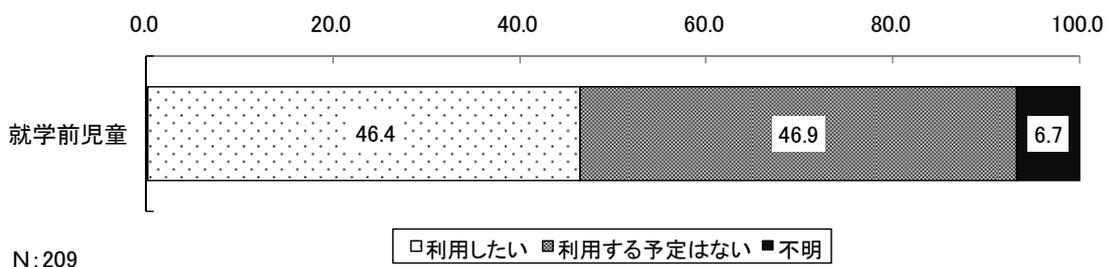


6

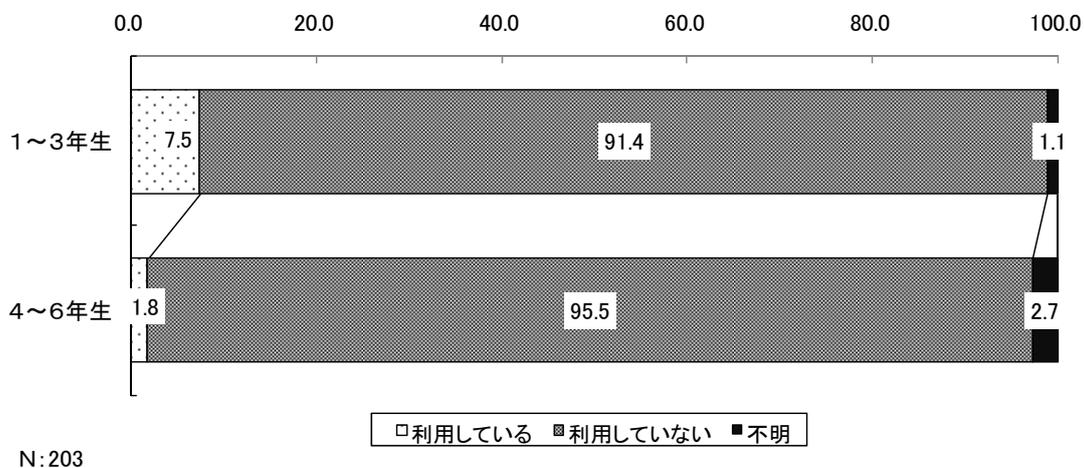
学童保育の利用について

学童保育の利用意向は、就学前児童で「利用する予定はない」46.9%、利用状況は小学校児童の1～3年生で「利用していない」91.4%、4～6年生で95.5%となっており、学童保育への利用意向・利用状況は低い傾向にあります。

学童保育の利用意向（就学前児童）



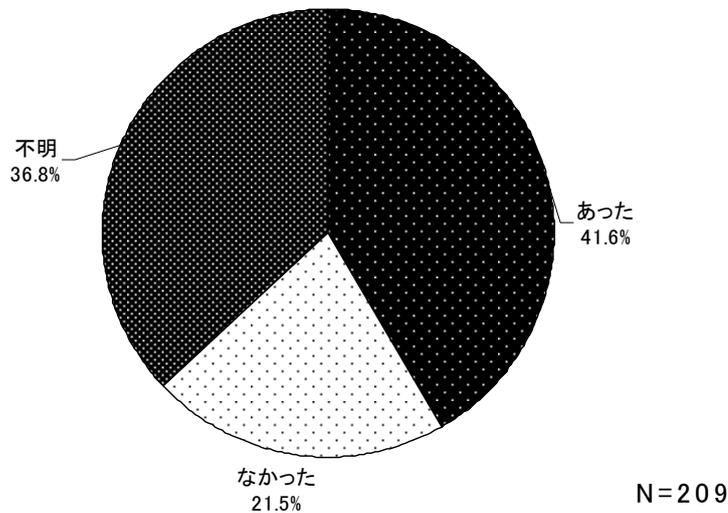
学童保育の利用状況（小学校児童）



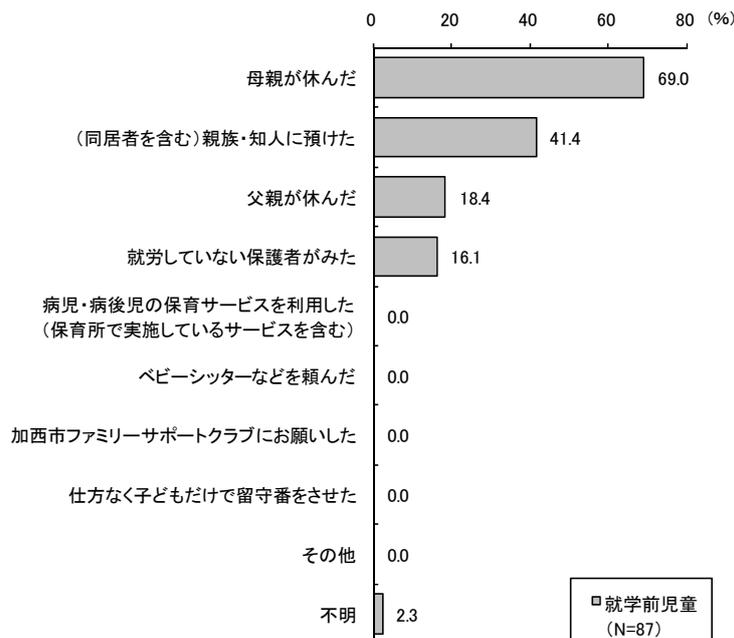
7 病気の時の対応について

この1年間に子どもが病気になって病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことが「あった」人は、41.6%となっています。その場合の対処方法は、「母親が休んだ」が69.0%と最も多く、「（同居を含む親族・知人に預けた」41.4%、「父親が休んだ」18.4%と続いています。

病気等で通常の保育サービスが利用できなかった経験（就学前児童）

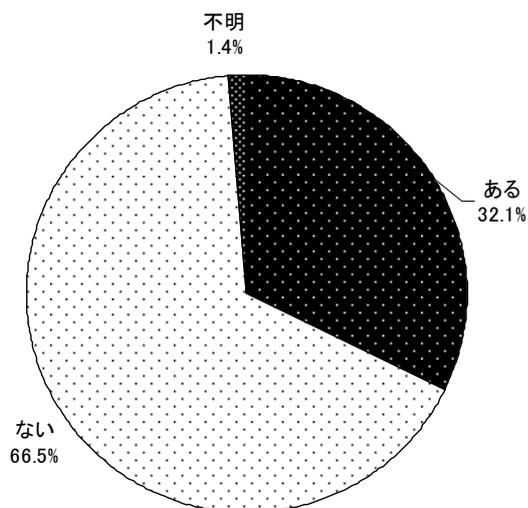


対処方法（就学前児童）



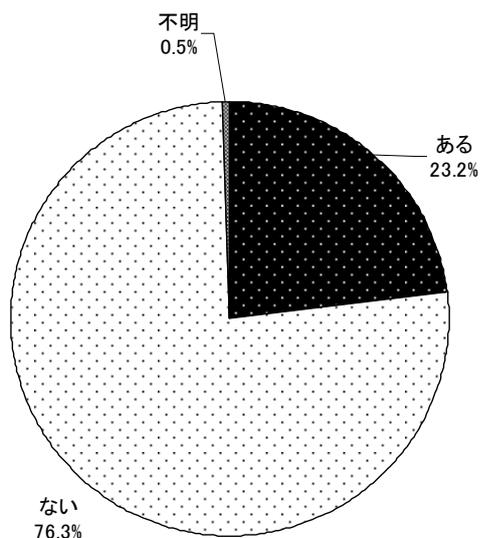
この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、趣味の会合、美容院など）やりフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあったと回答した保護者は、32.1%（就学前児童）、23.2%（小学校児童）となっています。

保護者の用事等で家族以外に一時的に預けた経験（就学前児童）



N=209

保護者の用事等で家族以外に一時的に預けた経験（小学校児童）



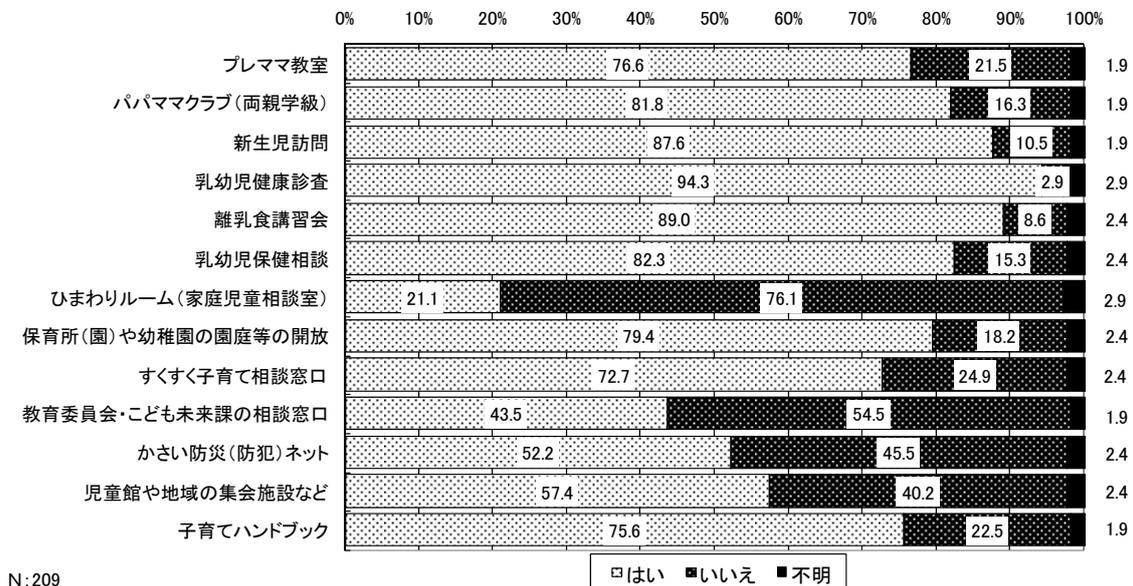
N=203

子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について

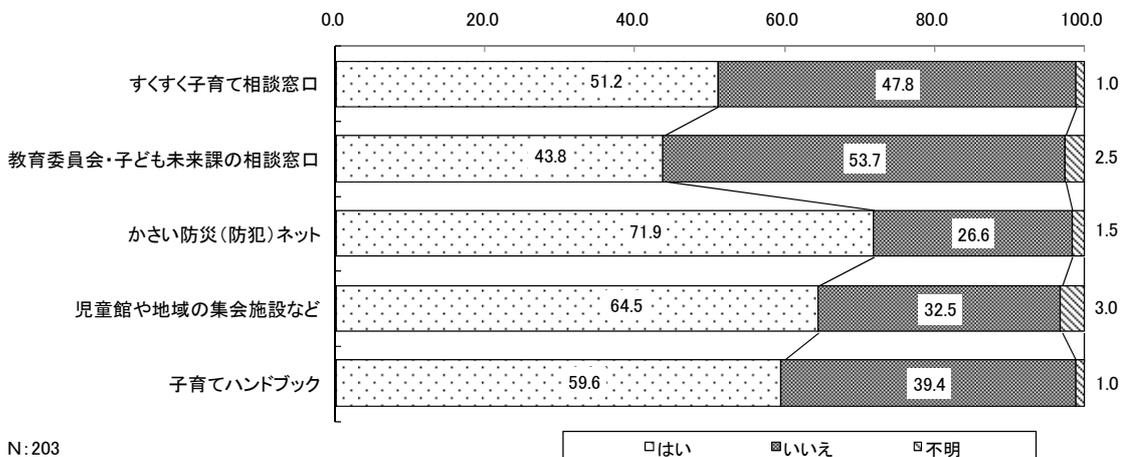
子育て支援サービスについて、それぞれ認知度、利用状況、今後の利用意向をたずねました。サービスによっては認知度が低いものもあり、さらなる啓発の必要性があることがわかります。

A：認知度

サービスの認知度（就学前児童）

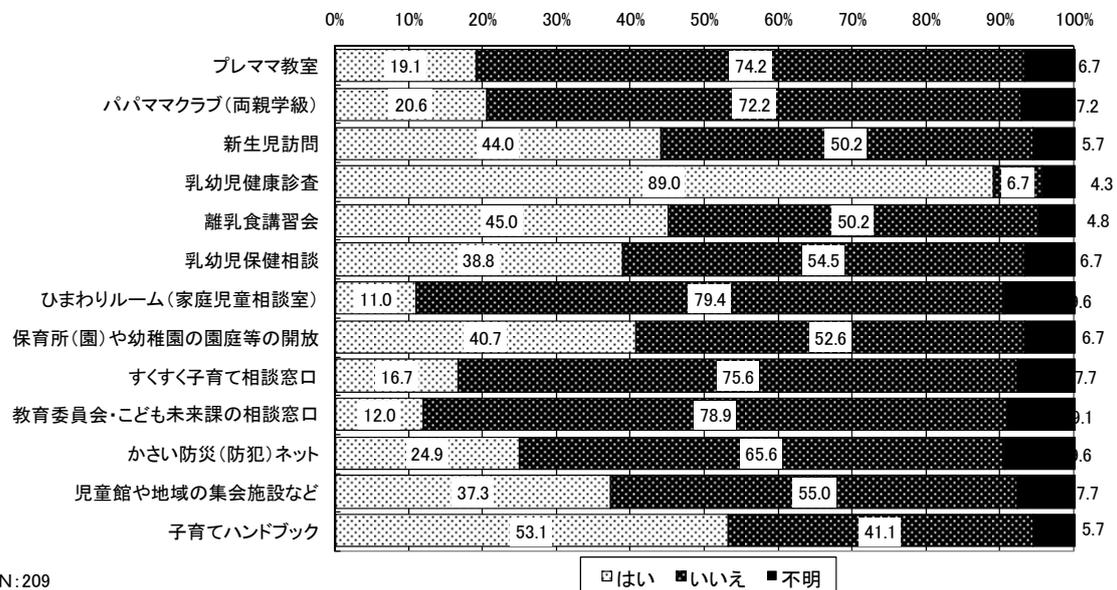


サービスの認知度（小学校児童）

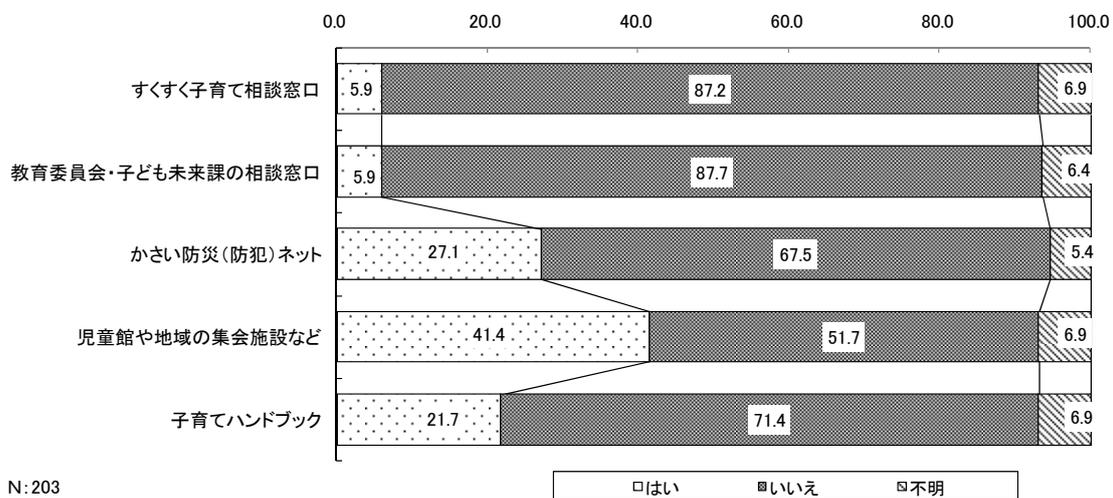


B：利用状況

サービスの利用状況（就学前児童）



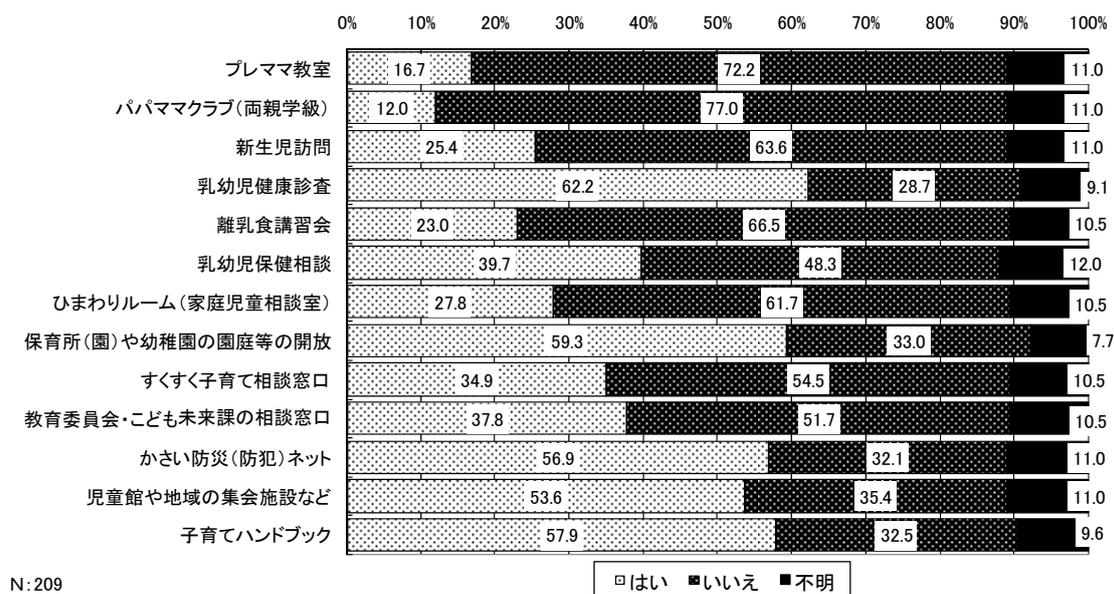
サービスの利用状況（小学校児童）



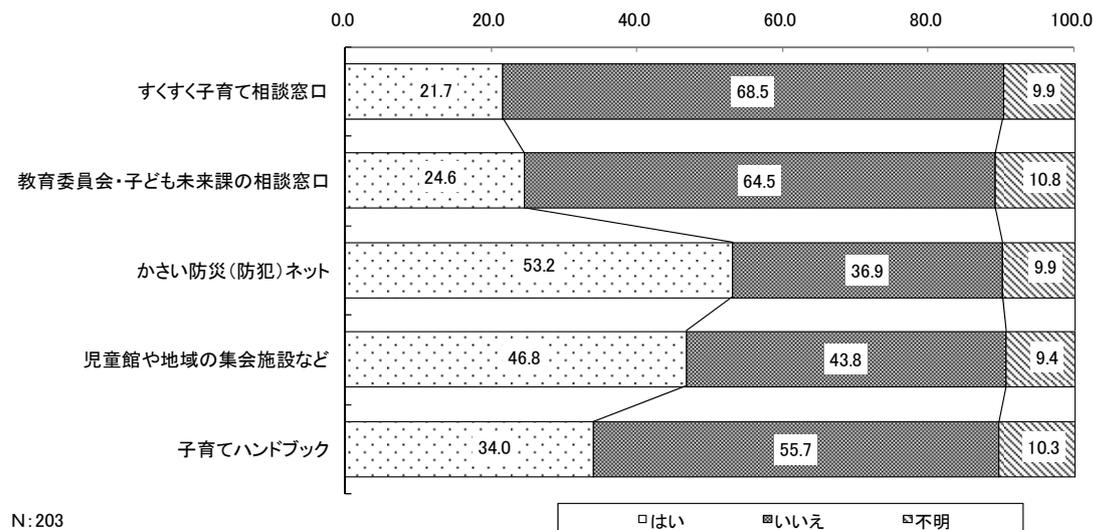
サービスの利用意向が高かったのは、就学前児童では「乳幼児健康診査」、「保育所（園）や幼稚園の園庭等の開放」、「子育てハンドブック」、小学校児童では「かさい防災（防犯）ネット」となっています。また、利用意向は利用率と比較しておおむね高くなっています。

C：利用意向

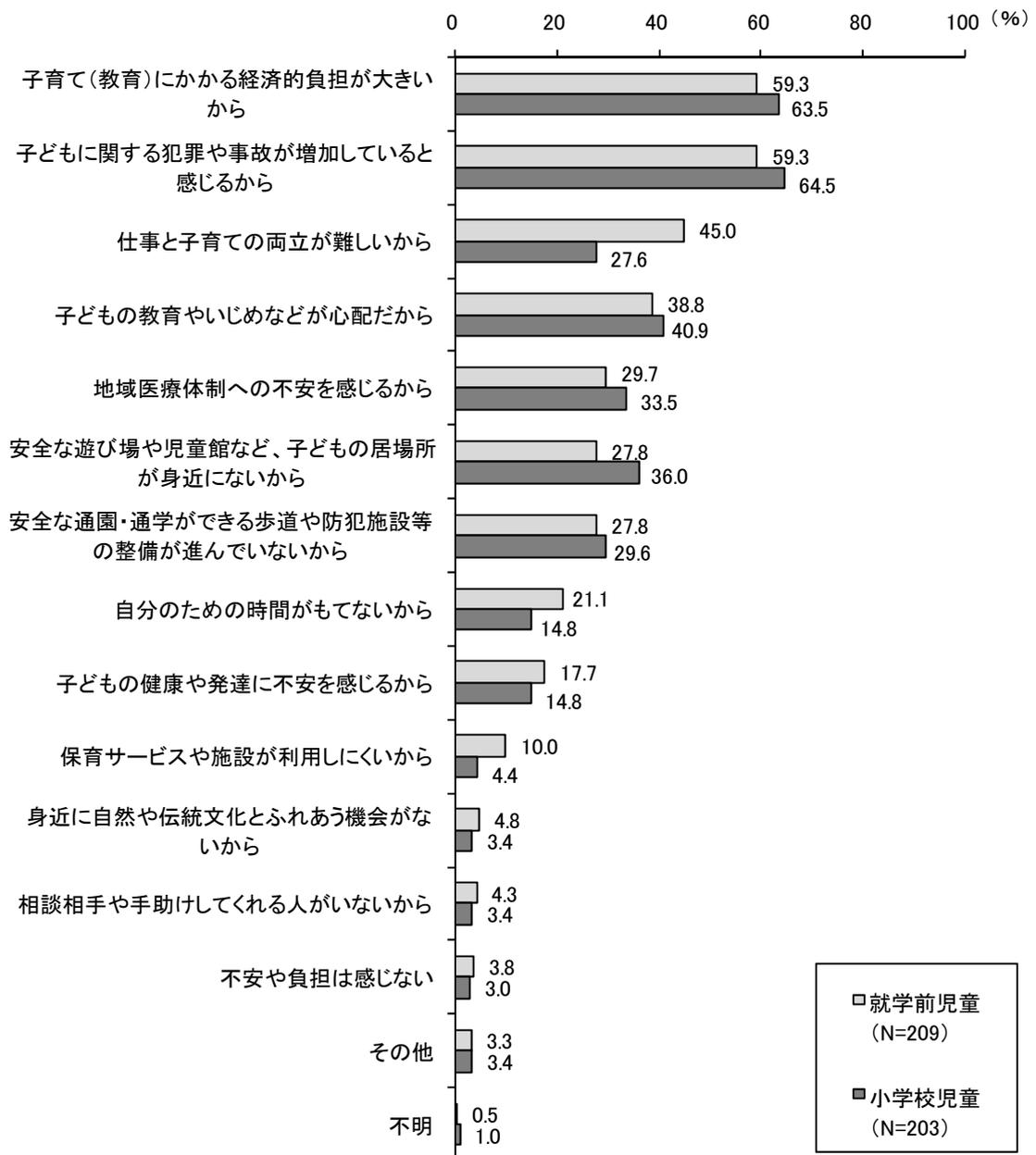
サービスの利用意向（就学前児童）



サービスの利用意向（小学校児童）

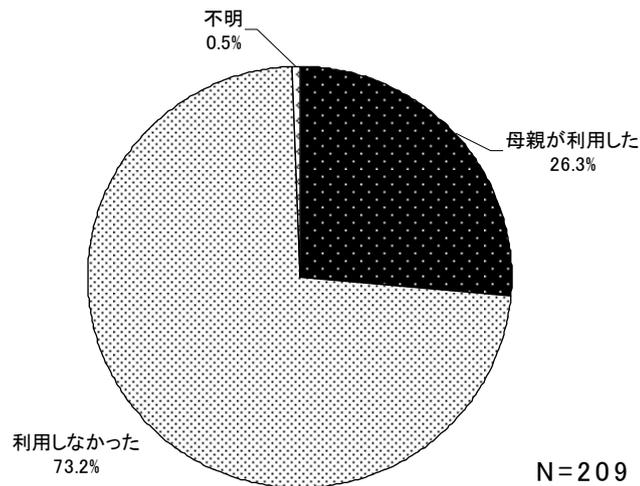


不安や悩みの内容について多いのは、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きいから」、「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから」、「仕事と子育ての両立が難しいから」、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」となっています。



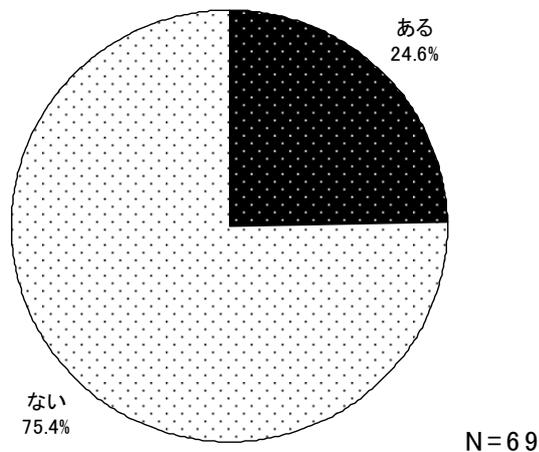
母親または父親が育児休業制度を利用したかについて、就学前児童の親の7割以上が「利用しなかった」と回答しています。

育児休業の取得状況（就学前児童）



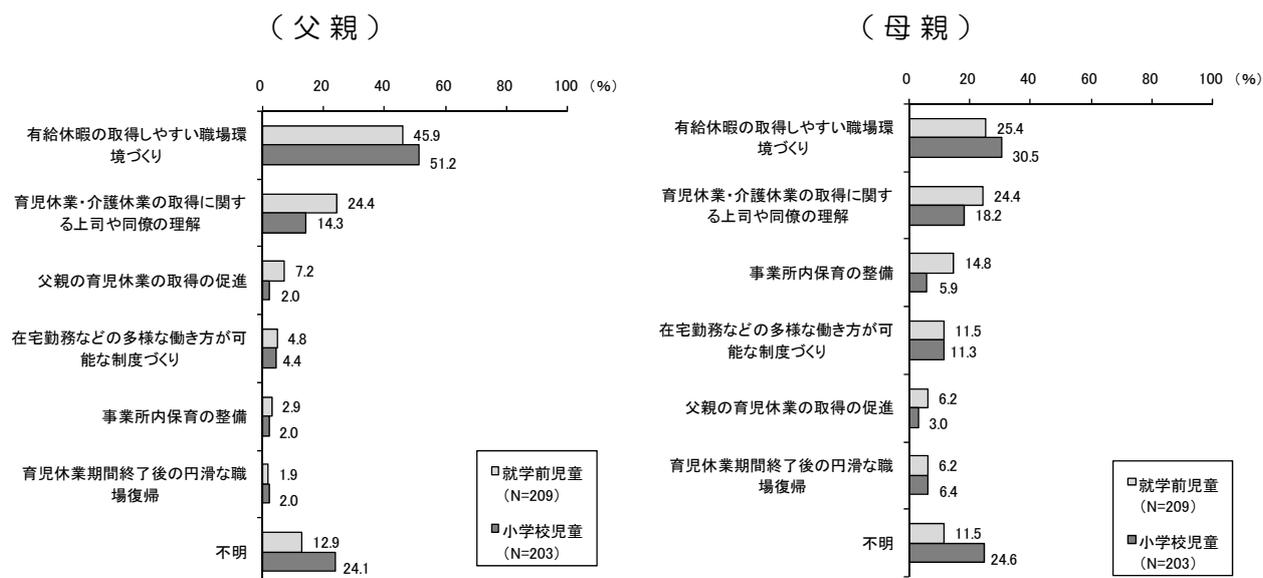
ワークライフバランスという言葉の認知度についてみると、「知らない」が75.4%を占めています。

ワークライフバランスの認知度（一般）

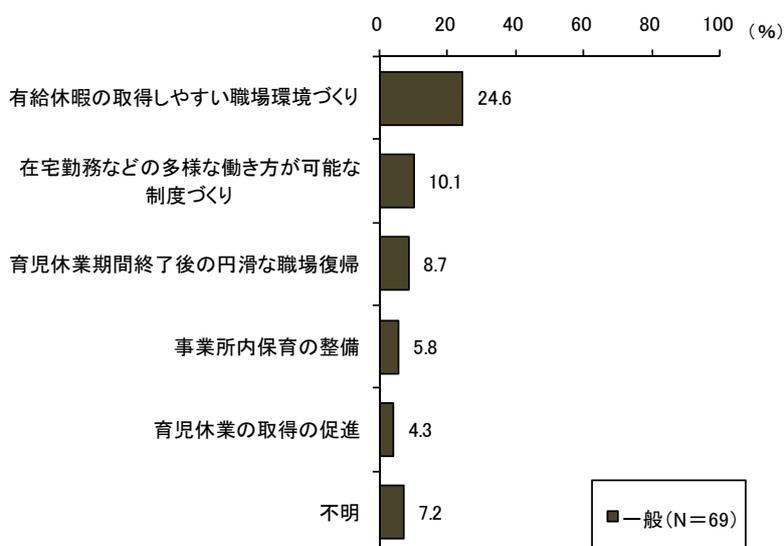


仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なことは、就学前児童、小学校児童の保護者では、「有給休暇の取得しやすい職場環境づくり」が最も多く、一般では「育児休業・介護休業の取得に関する上司や同僚の理解」が最も多くなっています。

仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なこと (就学前児童・小学校児童)

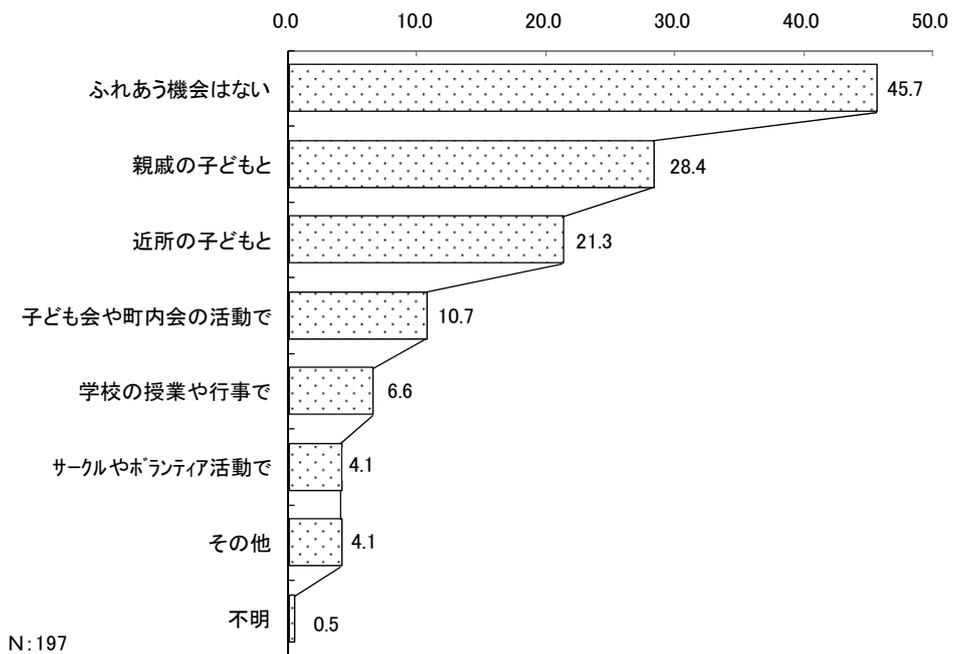


仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なこと (一般)



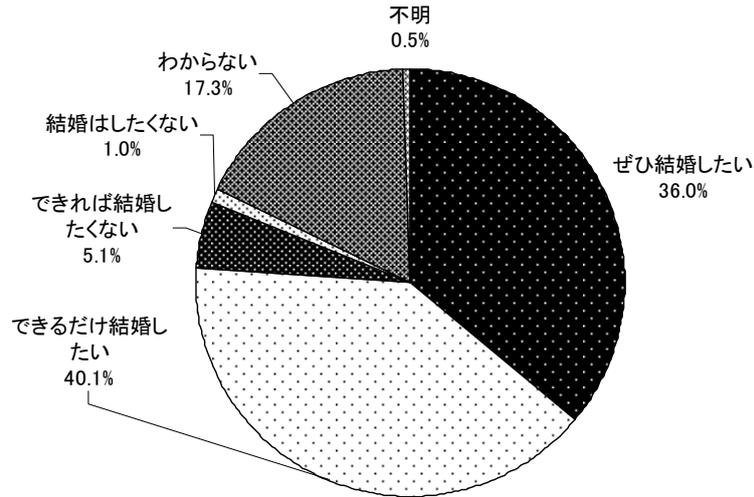
中・高校生の乳幼児とふれあう機会をみると、「ふれあう機会はない」45.7%が最も多く、次いで「親戚の子どもと」28.4%、「近所の子どもと」21.3%、「子ども会や町内会の活動で」10.7%の順となっています。

乳幼児とふれあう機会について（中・高校生）



中・高校生の結婚観をみると、「ぜひ結婚したい」、「できるだけ結婚したい」の合計 76.1%が「将来結婚したい」と回答しています。

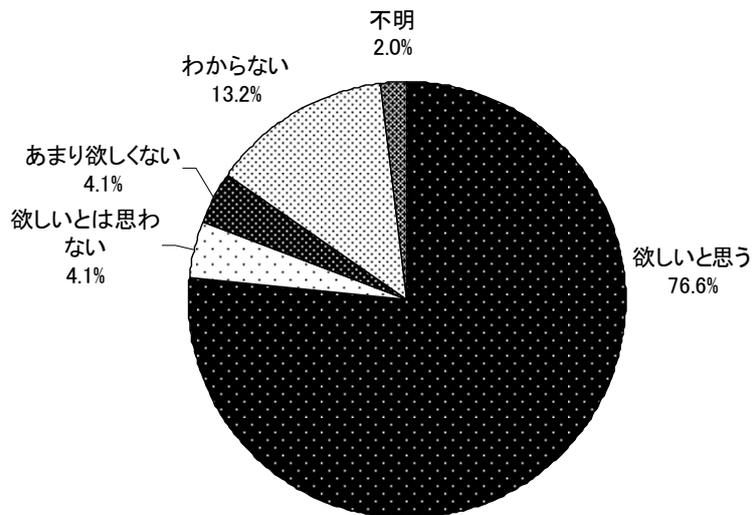
将来の結婚観について（中・高校生）



N:197

子どもが欲しいかについて（中・高校生）

子どもが欲しいかについては、「欲しいと思う」が 76.6%と最も多くなっています。



N:197

14 加西市での定住意向について

加西市での定住意向についてをみると、「住み続けたい」と回答した人は、就学前児童の保護者43.5%、小学校児童の保護者43.8%、中・高校生25.9%、一般39.1%となっています。

